長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)の競技掲示装置

Information Board in White Ring

◀キーワード：LED 式，屋内型

(株)日建設 石川 昇
Noboru Ishikawa

1. 競技用計時表示設備概要

長野オリンピックフィギュアスケート・ショートトラックスピードスケート会場に設置された競技用計時表示設備は、大型表示板（2面）と表示制御装置、画像処理装置、画像入力装置、カラープリンタなどから構成されている。大型表示盤には、選手紹介、得点表示、ランキング表示、日本語を含めたインフォメーションの表示、グラフィック画面表示が行える。オリンピック時は、オフィシャルリザルト、オフィシャルタイムと連携し総合的な得点表示盤として機能する。

室内競技表示設備には LED 方式のほか、旧来のランプ方式、磁気反転素子、TV 映像などがある。それぞれ一長一短であるが、LED 方式はランプ方式に対して素子の寿命が長く、発熱が少ないため電源設備が小型化ができる。また、TV 映像方式よりもコスト面で優れている。これらの理由で採用したわけであるが、ブレ大会での使用実績から見て性能上満足できるもので、長野オリンピックでも会場内での表示として期待している。なお、計時表示設備とは別に、アリーナ中央部にプロジェクション

タイプの4面大型映像設備を設けている。こちらは大会の多彩な運用において、多目的利用を目的としている。

2. ショートトラックスピードスケート設備概要

スタート装置、ラップカウンタ、光電管装置、スリットビデオ、データ管理 PC からなり、電子ピストルの光と音によりスタートし、ゴール着順をスリットカメラにより判定を行い、競技の進行に合わせ滑走選手名、着順、タイムなど必要な情報が大型表示盤にも表示される。

3. フィギュアスケート設備概要

得点入力装置、得点処理装置、データ管理 PC からなり、各ジャッジの得点を得点処理 PC を経てデータ PC からジャッジ名、選手名、得点など競技進行に合わせ大型表示盤にも表示される（図1）。

4. 室内競技表示設備概要

バスケットボール、バレーボール、テニスなど各コートで行われている競技表示盤の表示内容が、大型表示盤にも表示される。

図1 フィギュアスケートスコアリングシステム